

新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金の活用について

新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金は、感染症の拡大防止と早期収束を願って、感染症対策にかかる様々な取り組みを応援したいという多くの皆さまから寄せられた寄附金をもとに積み立てられた基金で、感染拡大の防止等に活用することとしています。

基金残高については、令和3年4月から12月までの間に6,354万1千円の寄附をいただき、令和3年12月末時点で1億2,484万5,893円となっております。

この基金については、3月補正予算に基金繰入金として9千万円を計上し、以下のとおり令和3年度に実施している新型コロナウイルス感染症対策に活用することを報告いたします。

1. 寄附金の受入状況

区分		金額(円)
令和2年度末(令和3年3月末)時点の基金残高		61,304,893
4月から12月までの受入	ふるさと納税としての寄附(2,617件)	59,506,000
	通常の寄附(24件)	4,035,000
令和3年12月末時点の基金残高		124,845,893

2. 基金の活用用途

(1) 令和3年度中の基金の取り崩し予定額 90,000,000円

(2) 令和3年度に実施している事業への活用

基金の活用用途に従い、以下のように充当事業を予定しております。

活用用途	主な充当事業	活用予定額
1 医療体制の充実	新型コロナウイルス感染症対策事業 救急高度化事業(感染者搬送資機材の充実)など	20,000千円
2 市民生活の支援	市民全員・飲食店サポート事業 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 介護・障害福祉サービス等支援事業など	30,000千円
3 感染拡大の防止	新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業 法定予防接種事業(高齢者インフルエンザ)など	30,000千円
4 その他	こども夢応援プロジェクト事業 学校情報通信機器運用事業(タブレット端末配備)など	10,000千円

※ 活用予定額は、各事業の予算額等を考慮して予定しているものですが、今後、各事業の執行実績に応じて変更する可能性があります。

3. その他

基金活用後の残高約3千5百万円は、令和4年1月から3月に受け入れる寄附金と合わせて基金に積み立てた上で、令和4年度以降の事業に活用いたします。